

小田裕之 ピアノリサイタル

アンサンブルとピアノソロの午後

これまでの集大成となるコンサートを企画しました。それぞれの作品を知らなくても楽しめる、天才作曲家による多彩な音の響き、編成、今一番届けたい思いが詰まっています。プログラムは、ペルーの民謡集にもとづき、スペイン人に征服される前のインカ帝国で話されていたケチュア語で、あらがいのない、それでいて成就しない愛を思い起こさせる言葉であるという「ハラウィ」、中国の道教に影響を受け「私（新実徳英先生）の中のユーモアとかウィットとかも動員して老子の言葉を濾過し、鍵盤上に顕れた音たちです」という「タオイズム オン ピアニズム」、10代の頃からいつもその音楽、響きに魅了され近年折に触れ演奏しているブラームスの作品から「ハイドンの主題による変奏曲」という3曲です。ハラウィはソプラノとピアノの超絶技巧的なハーモニー、華やかで幻想的な60分です。タオイズムは、現代曲に耳馴染みが無くても静寂や風景、心の動きが音になっているようです。ハイドンの主題による変奏曲ではブラームスらしいハーモニーと対旋律が4手連弾で互いに影響しながらアンサンブルの愉しみを通して祝典的な演奏としたいです。アンサンブルとソロで表現の可能性を追求します。どうぞお気軽にお越しください。

メシアン：ハラウィ 愛と死の歌 共演 ソプラノ 小川えみ (2017年にも同曲で共演)

1. お前、眠っていた街よ La ville qui dormait, toi
2. こんにちは、お前、緑の鳩よ Bonjour toi, colombe verte
3. 山々 Montagnes
4. ドウンドゥ・チル Doundou Tchil
5. ビルーチャの愛 L'amour de Piroutcha
6. 惑星の反復 Répétition planétaire
7. さらば Adieu
8. 音節 Syllabes
9. 階段は再び語る、太陽の身振り L'escalier redit, gestes du soleil
10. 愛、星の鳥 Amour oiseau d'étoile
11. カチカチ、星々 Katchikatchi les étoiles
12. 闇のなかに Dans le noir

新実徳英：タオイズム オン ピアニズム (2025) から 独奏

ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲 作品56b (R.ケラーによる4手連弾版) 共演 十川菜穂

2027年2月28日(日) 東京オペラシティリサイタルホール

開場 13:00 開演 13:30 終演 15:30 頃

一般 4,500円 学生 1,500円 (当日各500円増)

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 (月曜定休)

イープラス <https://eplus.jp> お問い合わせ：klavirist-hiroyuki@hotmail.co.jp

略歴：ピアニスト、教師。桐朋学園大学ピアノ科を首席で卒業後、ブラハにて研鑽を積んだ。第13回摂津音楽祭銀賞受賞。ピアノを岡本美智子、B.クライナーの各氏に、室内楽を故青木十良氏、クーベリックトリオに、通奏低音を故鍋島元子氏に、音楽学を故中内詢子氏に師事。文化庁助成演連コンサート、日本ショパン協会主催をはじめとするソロリサイタルの他、合唱、歌曲、器楽の共演者としても活動。音楽理論研究会第7回東京例会でヨセフ・スクの《子守唄》作品33の作品分析と演奏法を発表。指導者としては、2014年度ビティナ特別指導者賞、Supraleitung Methode Japan®ピアノコンクール2025指導者賞を受賞。又、2024年度から2年間、桐朋学園大学にて初見、移調、数字付き低音などを扱うKBS(キーボード・ソルフェージュ)も担当するなど、多岐にわたり活動している。



©Atsushi Yamaguchi

後援：チェコ国際音楽コンクール実行委員会、カワイ表参道、ピアノパッサージュ株式会社、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ビティナ)